

近現代史(14) 「19世紀欧州周辺地域史；七月革命・二月革命の影響／国際的諸運動の進展／北欧3国史」

☆フランス七月革命と二月革命の余波は各国に影響を与えた！！

【七月革命の影響】

- オランダ：[①]の独立 → 蘭領東インド(インドネシア)で[②]実施
- ロシア：ロシアが王位を兼ねる[③]で反乱 → 失敗
- イタリア：中部イタリアで秘密結社[④](炭焼党)の反乱 → 失敗
- イギリス：1832年[⑤]
⇒産業資本家に選挙権・腐敗選挙区の廃止(ホイッグ党グレー内閣)

【二月革命の影響】

- ドイツ連邦 (1815～1866：奥を議長国とする35の君主国と4自由市で構成された全ドイツ的組織)
 - ・オーストリア：ウィーン三月革命が起こり、[⑥]がイギリスに亡命。
 - ・ハンガリー：[⑦]指導下のマジャール人がハンガリーの独立を宣言
 - ・ボヘミア：[⑧]でチェク人の独立運動
 - ・プロイセン：[⑨]で欽定憲法制定。自由主義者によりドイツの統一を協議する[⑩]の開催 → 失敗
- イタリア：分裂状態
 - ・サルディーニャ：国王[⑪]が民主的憲法を制定し、イタリア統一のためロンバルディア回復を狙って対オーストリア宣戦 → 失敗
 - ・青年イタリア：マッツィーニ指導により[⑫]を樹立宣言 → フランスの干渉で失敗
- イギリス
 - ・フランスでの労働者勢力の台頭に刺激され[⑬]が最高潮 → 失敗

【国際的諸運動の進展】

☆世界の交流が進みその一体化が進行 → 種々の国際的運動も盛んとなる。

(1) 社会主義運動

○[⑭](1864～76) 正式名称は国際労働者協会

- ・1863年の対露[⑮]反乱を支援した各国の亡命革命家が翌年[⑯]で創設
- ・科学的社会主義を唱えるマルクスがロシアの無政府主義者[⑰]と論争。
- ・1871年の[⑱]を公然と支援。各国政府の弾圧を受け、まもなく活動停止。

○[⑲](1889～1914) 正式名称は国際社会党会議

- ・フランス革命100周年を記念するパリ万博に対抗して、同年[⑳]で創設。8時間労働を要求。
- ・[㉑]、イギリスの労働党、フランスの社会党などが参加し、労働運動の基礎を築く
- ・WW I 勃発を契機に各党が自国の戦争に協力する方針に転換したため、活動を停止。

○[㉒](1919～1943) 略称はコミンテルン

- ・列強による対ソ干渉戦争に対抗してレーニンが[㉓]で創設 (正式名称 国際共産党)
- ・ナチス=ドイツの弾圧によるドイツ共産党の壊滅をきっかけに[㉔]を結成する方針に転換。
- ・独ソ戦勃発を契機にソ連は米英の援助を受けることになったので、コミンテルン解散。

(2)[25]

- ・戦時における傷病兵の救護活動を目的に設立された団体。スイス人[26]の提唱によって1863年ジュネーブで発足した。
 - ・デュナン…スイスの銀行家。クリミア戦争における[27]の活動に深く影響され、のちイタリア戦争の戦場での悲惨さを見て、1863年赤十字運動を提唱した。

(3)国際オリンピック大会

- ・1896年、フランスの[28]によって古代オリンピックの再現として開始される。
 - ・普仏戦争の敗北の原因が青少年の肉体的墮落にあるとして、スポーツが奨励された当時のフランスの、ドイツに対する復讐心に満ちた[29]の昂揚が背景にある。
 - ・各国は政治の手段としてオリンピックに着目するようになり、国家意識昂揚の手段として、大会が利用されるようになった。

(4)[30] <1899、1907>

- ・ロシアの[31]の提唱によって開催された国際平和に関する会議。戦争法規に関わるもの(毒ガスの禁止や捕虜協定など)が決定された。
 - ・[32](1901)…万国平和会議の決定に基づきオランダのハーグに設置された国際紛争の仲裁機関。第一次世界大戦の危機に際して、ほとんど役割を果たさなかった。

【北ヨーロッパ諸国史】

(1)スウェーデン

- ・1648年 ウェストファリア条約…北ドイツ地域(西ポンメルン)を獲得! → [33]の形成
- ・1700年 [34]…バルト海進出をはかるロシアがスウェーデンに挑戦!
 - ・国王[35]が活躍するが、1721年に敗北。 → バルト海の覇権を喪失
- ・1809年 フィンランドを[36]に割譲。
 - ・フィンランドは第一次世界大戦後のパリ講和会議で独立が認められる。
- ・1814年 ウィーン会議でデンマークから[37]を獲得(1905年、独立)
- ・1866年 二院制議会が成立 → 安定した立憲王国として発展

(2)デンマーク

- ・11世紀…[38]がイングランド、デンマーク、ノルウェーを支配して北海帝国を樹立
- ・14世紀…王女[39]のもとにスウェーデン、ノルウェー、デンマークがカルマル同盟を結んでデンマーク連合王国を形成。
- ・17世紀…デンマーク王[40]、三十年戦争に新教側で介入するも敗北
- ・1814年…ウィーン会議でノルウェーを[41]に割譲。
- ・1864年…デンマーク戦争でプロイセン・オーストリアに敗北。
 - [42]・[43]を喪失
- ・戦後：農業改革と福祉政策に務め、民主的立憲王国として発展

(3)ノルウェー：カルマル同盟 → デンマーク領 → スウェーデン領 → 独立

- ・1814年にデンマーク領から[44]とされたが、1814年に独自憲法を制定し、独立の機会を求める。
- ・1905年、[45]後の北欧の政治的動揺に乗じて国民投票を行い、一方的に独立宣言。
 - ※戦争の可能性もあったが、結局、スウェーデンは独立を容認した。